

## おひさま保育園の環境づくり・特徴

環境づくりの基本コンセプト・・・『共生と共育』

### 共生と共育

共に生き・共に育むという字ですが、その中にはいろんな意味を込めています。

子どもたち同士や子どもと保護者の『共生と共育』はもちろんですが、子どもたちを中心として、保育園・地域・自然環境等が『共生と共育』していく拠点（ベース）となるような建物を目指して設計しています。

### エントランス

子どもを抱っこしたままだったり、大きな荷物を抱えたままでも安全に保護者の負担が少なくなるようにという思いでメインの扉を自動ドアにしております。ちなみに自動ドアの入り口は、建物の玄関というよりは、門扉のイメージです。

### 開放的な空間づくり

事務所からランチルーム・給食室まで全面ガラス張りとし、また、ランチルームからオープンデッキ・園庭まで全開放が可能となるような全面開放サッシを取り入れています。オープンカフェのイメージです。

また、オープンデッキの真ん中には憩いの空間（ベンチ）を設けています。子どもたちだけではなく、お父さん・お母さんたち同士の憩いの場になればと思っています。

建物全体として開放的な空間づくりをテーマに設計していますが、特に0～1歳児クラスの部屋は木造なので柱が多く筋交いも入っているため、本来であれば開放的なイメージが作りにくいのですが、できるだけ子どもたちがかままり立ちした状態の目線で外の景色や各部屋同士が十分に見渡せるような空間にしています。

### 床材

デッキスペースの材料には、ささくれの出ない特殊な木の集成材を使用していますので、子どもたちが裸足で歩いても安全です。

また、室内の床材には厚みのある無垢の木（パイン材）を使用しています。ぜひ足の裏で木の柔らかさやあたたかさを体感してください。

### 視覚的効果

エントランスからオープンデッキのスペースでは、土足ゾーンと素足ゾーンを赤色（土足）と茶色（素足）に色分けしています。

また、階段は、上りと下りを黄色（上り）とオレンジ（下り）に色分けする事により、子ど

もたちが自然とルールを体験し学習できるようなきかけをつくっています。

### 部屋の明かり

各部屋とも、自然の日差しが十分入るよう窓をできるだけ多く取っています。

各保育室の照明器具にはあたたかく柔らかい明るさになるように蛍光灯は電球色を使用し、ランチルームには食材が美味しく見える昼白色を使用しています。

### ユニバーサルデザイン

園舎内は車椅子対応のバリアフリーとし、子どもたちが使用する手洗い等は様々な高さで作り、子どもが自分で使い易いサイズを選んで使用できるようにしています。また、RC新築棟（本館）と木造既存棟（別館）の間も主に0～1歳児が行き来するため、階段とスロープの2通りを用意し、自分の力で無理なく通れるようにしています。

### 主体的・自発的・創造的な遊びの展開（主に3～5歳児）

3～5歳児の保育室は1フロアとし、様々な異年齢集団の中での保育を可能とし、各ゾーン（コーナー）毎に自分の遊びが十分できるような環境づくりを目指しています。

### ワクワク・ドキドキするような仕掛け

1階のフリースペース奥には、「かまくら」や「DEN」をイメージした隠れ家（あなぐら）空間があります。暗闇の中で光を使って遊んだり、閉ざされた空間の中で落ち着ける場所であったり、大人が簡単に出入りできないよう、あえて入り口を低く作りました。子どもたちの秘密基地になるといいのですが……。3～5歳児保育室にも鏡の部屋の隠れ家空間をつくっています。

また、2歳児保育室には船の窓をイメージした「のぞき窓」があります。2歳児の子どもたちが通常立って見える高さの他、あえてしゃがみ込まないと覗けないような高さの「のぞき窓」を設置しています。

今後、室内にロフト空間や遊具などを随時設置していく予定です。

### 遊び込める園庭づくりを目指して

園庭づくりのイメージとしては、園庭の中心にシンボリックな展望台（東屋）を配置し、その周りには泥んこ砂場（山砂）・さらさら砂場（海砂）・水場を配置、その周辺をトラックにして、主に三輪車のコースとしています。今後小川のビオトープや木陰のデッキでくつろいだりできる空間など、様々な体験や遊びが展開できるような園庭づくりを目指しています。

## エコ（自然環境）活動への取り組み

### 環境教育

雨水利用の装置を 1 階オープンデッキに設置しています。雨水が流れてくる排水管を透明にすることで雨が降り、水が溜まって、その雨水を再利用する様子を体験できるような仕掛けをしています。再利用の雨水は植栽の水やりや、砂場での水遊びに使用いたします。（ウイスキー樽を再利用しているのも廃品リサイクルの一環です。また、ウイスキー樽を利用することで紫外線をできるだけカットし、中の貯水の衛生面にも配慮しています。）

### 環境活動

今回新たに導入している機器類（エアコンや厨房設備品）は全て、省エネタイプの製品を導入し、少しずつではありますがCO<sup>2</sup>の削減に取り組んでいきたいと考えています。

また、今まで同様給食室や、保育室での消毒・消臭には酸性水を使用しています。酸性水は水と食塩からできていますので、土壌汚染の心配がありません。

酸性水では、野菜など食材の洗浄や器具、トイレなどの消毒洗浄、砂場の消毒や子どもたちの足洗いなどに使用しておりますので、化学薬品の使用が少なくなり、子どもたちにとっても安全です。